

2019年総合生活改善 第3回中央生活闘争委員会 ＜確認事項＞

2019年3月9日
自動車総連

☆2月末までを目途とした自動車総連全体の要求提出について、本日時点、集計対象全1,089単組の94.9%にあたる1,034単組で要求提出を完了しており、各要求項目、総じて前年を上回る要求状況となっている。

☆とりわけ「賃金」については、目指す賃金の絶対水準やポジション、賃金カーブや配分のあり方といった賃金課題を基に、要求根拠を具体的に積み上げ、要求・交渉を行っているケースが随所に見られるとともに、結果として要求の幅が広がっており、「3,000円」という数字に囚われずに自らの要求を構築している様子が窺える。

☆「目指す賃金・目指す働き方を実現する」「底上げ・格差是正を何としても進める」とした、中小を始めとする各単組の「人への投資」を求める強い意思が全体に表れているものと受け止める。

☆こうした中、先行して交渉を進めている主要単組における交渉状況を見ると、深刻な人手不足の中、厳しい競争環境を乗り越えていくための「人への投資」、及び、職場風土や働く環境、仕事の進め方など、広く「働き方」に係る取り組みの必要性については、労使共通の認識に立っている。

☆しかしながら、組合の賃金要求に対し、経営側は、中長期の競争力への影響や組合員の意識・覚悟、また、最適な「人への投資」のあり方をギリギリまで見極めるべく、水準感を含め、いまだ明確な方向性を示しておらず、厳しい姿勢を崩していない。

☆年間一時金要求についても、第4四半期の収益環境の悪化等を背景に、要求水準の高さに対する強い懸念を示しており、全く予断を許さない状況が続いている。

☆こうした状況を打ち破ると同時に、全ての単組にとって「最大限の回答」の引き出しに繋げていくべく、次に示す「回答引き出しに向けた基本態度」をもって＜確認事項＞とし、自動車総連一体となって最終盤の交渉を追い上げていく。

■ 回答引き出しに向けた基本態度

☆自動車総連は、自動車産業労使の果たすべき責任・期待と影響の大きさを強く認識した上で、最大限の回答を引き出すべく、本「回答引き出しに向けた基本態度」をもって、最後まで粘り強く交渉を追い上げていくことをここに確認する。

<月例賃金（個別賃金絶対水準要求・平均賃金要求）>

- 全ての単組は、「自らの要求根拠に照らし合わせ、その要求根拠を十分に満たし得る」かつ「労連全体の要求に表れた強い意思の具現化に繋がる」最大の回答を引き出すべく、最後まで交渉を追い上げる。
- 各労連及び自動車総連本部は、「目指す賃金・目指す働き方を実現する」「底上げ・格差是正を何としても進める」とした、中小を始めとする各単組の「人への投資」を求める強い意思を形にすべく、具体的な戦術・サポートの展開、回答引き出し状況の速やかな収集・分析・共有等を行う。
- 非正規労働者の賃金改善については、具体的な有額での回答引き出し、及び一般組合員との同時決着を図る。

<企業内最低賃金>

- 企業内最低賃金協定の新規締結、締結水準の引き上げ、または締結対象の拡大を要求した単組は、特定最低賃金を通じた社会全体への波及の観点を強く意識し、底上げ・底支えに繋がる回答を確実に引き出す。

<年間一時金>

- 組合員の努力・頑張りに報い、更なる意欲・活力に繋げていくためにも、満額獲得に向け、最後まで押し込む。季別回答や業績を意識した付帯事項は望ましくないとのスタンスのもと、年間協定にとことんこだわる。

<働き方の改善>

- 職場全体の生産性向上や恒常的な長時間労働の是正を図るべく、今次交渉を通じ労使で深め合った、職場風土や働く環境、仕事の進め方等の働き方課題について、課題解決に繋がる回答引き出しや取り組みに確実に結び付ける。

<非正規労働者に関する取り組み>

- 取り組んでいる単組は、同一価値労働同一賃金の流れを強く意識し、一步でも二歩でも取り組みが進む回答を引き出すとともに、今後の取り組みに繋げていく。

<早期決着に向けた取り組み>

- 各単組・労連は、共闘効果を高めるため、自動車総連全体の「ヤマ場」と設定した3月13日（水）から3月22日（金）の間で、集中的に回答を引き出す。主要単組における集中回答日は3月13日（水）とし、午前中に要求項目の同時回答を引き出す。
- 自動車総連全体では、回答指定日の重みを踏まえつつ、3月末決着を目指し最大限取り組むとし、遅くとも4月末までには全ての単組での決着を図る。

☆第4回中央生活闘争委員会を3月19日（火）に開催する。